

ABSTRACT

A door engagement device includes a latch hook 13 and a latch head 12. The latch hook 13 has a latch head pulling portion 14 on a door main body side. The latch head 12 has a latch head pulled portion 16 on a door side. The latch head pulling portion is engaged with the latch head pulled portion.

- 12 latch head
- 12a recess portion
- 13 latch hook
- 13a projecting portion
- 14 latch head pulling portion
- 16 latch head pulled portion
- 30 door main body
- 31 microwave oven
- 35 oven front plate

⑤ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和61年(1986)9月24日

F 24 C 15/02

D-7116-3L

審査請求 未請求 (全2頁)

⑬ 考案の名称 ドア係合装置

⑭ 実 願 昭60-38012

⑮ 出 願 昭60(1985)3月15日

⑯ 考 案 者 竹 氏 孝 一 大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社内

⑰ 出 願 人 シャープ株式会社 大阪市阿倍野区長池町22番22号

⑱ 代 理 人 弁理士 原 謙 三

⑲ 実用新案登録請求の範囲

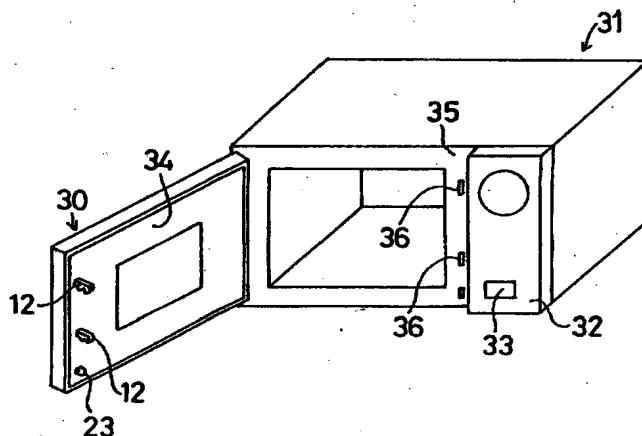
- 1 ラッチヘッド引張部を有するラッチフックと、前記ラッチヘッド引張部に係合しうるラッチヘッド被引張部を有するラッチヘッドによつて、本体側とドア側とを係合する装置において、ラッチフックにラッチフック被押圧部を設け、該ラッチフック被押圧部に係合しうるラッチフック押圧部を前記ラッチヘッドに設けたことを特徴とするドア係合装置。
- 2 上記ラッチフック被押圧部及びそれに係合しうる上記ラッチフック押圧部は、垂直平面形状をなしている実用新案登録請求の範囲第1項記載のドア係合装置。

図面の簡単な説明

第1図aは本考案の一実施例を示すドアの係合状態の縦断面図、同図bはその要部の説明図、第2図は第1図のドア係合構造を備えたドア開放状態の電子レンジの斜視図、第3図は従来例のドア係合状態の縦断面図である。

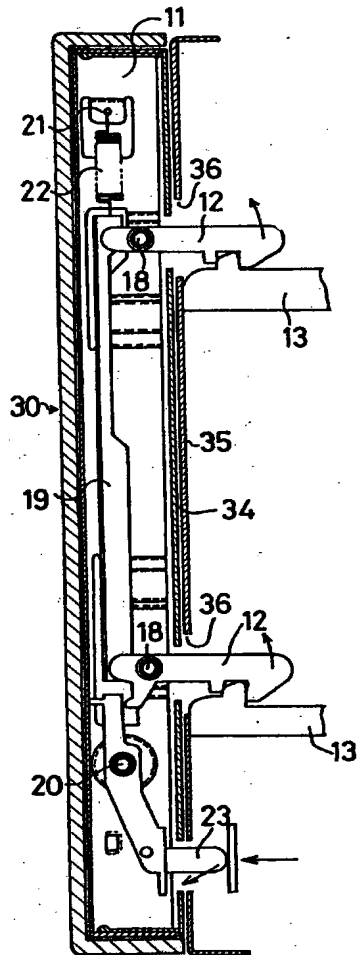
12はラッチヘッド、12aは凹欠部、13はラッチフック、13aは突起、14はラッチヘッド引張部、15はラッチフック被押圧部、16はラッチヘッド被引張部、17はラッチフック押圧部、30はドア本体、31は電子レンジ本体、35はオープン前板である。

第2図

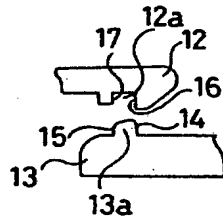


第1図

(a)



(b)



第3図

